

【ヌーヴェル・ボルドー】

SKJドメーヌ

リストラック・メドック



《メドックの「シャトー」の枠を越え、区画ごとの可能性を探る小規模ドメーヌ》

マキシムとバルバラ・ジュリオ夫妻がメドックのリストラック・メドックに設立した小規模ドメーヌです。「SKJ」は、バルバラの旧姓Simon-Kayser（シモン＝カイザー）の「S・K」と、マキシムの姓Julliot（ジュリオ）の「J」を組み合わせたもの。伝統的な「シャトー」の名称ではなく、二人の家族名を掲げています。マキシムはボルドー・サイエンス・アグリ（国立の農学系教育機関）でブドウ栽培・醸造を学び、2002年に農業技師の資格を取得。フランス、イタリア、アルゼンチンで醸造責任者や技術責任者を務めた後、2012年からメドックのワイナリーで有機栽培への転換を指揮しました。2020年、ブルゴーニュ出身のバルバラとともに家族経営のプロジェクトを始動。翌2021年にムーリス・アン・メドックとリストラック・メドックにある古樹の区画を取得し、約3haの畑でワイン造りを開始しました。畑は有機栽培で管理し、土壌を再生して健全な生命を取り戻すことを目標にしています。醸造では区画ごとの特徴を尊重し、砂岩やテラコッタのアンフォラ、小型コンクリートタンク、オークやアカシアの樽を使い分けます。「シャトー」という従来の枠にとらわれず、品種や区画、醸造容器の組み合わせからメドックの新しい表現を追求。小規模だからこそ可能な自由な発想で、率直で個性のあるワインを生み出す「ヌーヴェル・ボルドー」の造り手です。



Vin de Tata
ヴァン・ド・タタ 2024

AOC	ボルドー・ブラン
セパージュ	ソーヴィニヨン・ブラン85%、 コロムバル10%、 ゲヴュルトトラミネール5%
アルコール度数	13.0%
容量・入数	750ml/12
バーコード	なし

「Vin de Tata」は、フランス語で「おばちゃんのワイン」という親しみを込めた名称です。

コート・ド・ガスコーニュの白ワインを好むマキシムの義姉に着想を得て誕生しました。

ブドウは、ボルドー市から東南東へ約50km、アントル・ドゥ・メール東部のクレラック村で、同じワイン造りをする仲間であるヤニック・マリョットが有機栽培。ソーヴィニヨン・ブラン85%、コロムバル10%、ゲヴルトトラミネール5%を同時に収穫・圧搾し、SKJドメーヌがリストラック・メドックで醸造から瓶詰めまでを行っています。土着酵母によって砂岩製アンフォラで自然発酵させ、そのままマロラクティック発酵と6か月の熟成を実施。ブドウ栽培から醸造までEUの有機規則に沿って造られた有機認証ワインで、総SO₂は15mg/L。

白桃やアプリコット、黄レモン、花を思わせる香りと、やわらかな口当たりを備えた、生産本数約2,200本の白ワインです。

ラベルデザインは、ベルリンを拠点に活動するグラフィックデザイナー、マーク・ゾリー＝カサリが手掛けています。

ワイン本来の風味を残すため、無濾過・澱引きを行わずに瓶詰めしています。そのため酵母由来の澱が見られる場合がありますが、品質には問題ありません。数日間立てて静置してからお楽しみください。